



2025年10月29日掲載

日経平均5万円と高市トレード

日経平均株価が5万円の台に乗りました。10月21日付のコラムでも指摘したように、日経平均の素早い上昇は米国株の歴史的高値と関連しており、主に人工知能・半導体関連がけん引しています。

また最近では、米国のインフレ率が想定通り穏やかになり、トランプ関税の影響が小さそうであること、米連邦準備理事会(FRB)の連続利下げが確かなものになりそうなこと、(金利とテック株にあまり本質的な関係はないのですが)金利低下がテック株に有利な市場心理になること、が関連しています。

次に米中貿易摩擦の再燃が限定的であるとの期待も強まりました。これも前から予想されていた通り、米国の関税引き上げと中国のレアアース輸出規制が先送りされています。インフレや関税は、日米株価を引き上げる理由というよりも心配が減ったという程度でしょう。

一方、高市早苗首相の外交での成功が内閣支持率をさらに高めるのであれば、政策実行の可能性が高まるので日本株には良いと言えます。特に、所信表明演説で述べられたインフレ対策のいくつかは自ら締め切りを設定するなど積極的で、消費者のマインドを刺激することが期待されます。

しかし、それと共に市場は相変わらず財政の無責任な拡大や金融政策への介入を期待しているようでもあり、この点は行き過ぎに思います。

今後の日本株は、まず米国テック株の業績発表の影響を受けるでしょう。順調であれば指数上昇につながります。高市氏への一方的な期待も少なくとも12月に予想される日銀の利上げまでは続きそうです。

(アモーヴァ・アセットマネジメント チーフ・ストラテジスト 神山 直樹)

※2025年9月1日、日興アセットマネジメント株式会社はアモーヴァ・アセットマネジメント株式会社に社名変更しました。

《本資料は執筆者の見解を記したものであり、当社としての見通しとは必ずしも一致しません。本資料のデータは各種の情報源から入手したのですが、正確性、完全性を全面的に保証するものではありません。また、作成時点で入手可能なデータに基づき経済・金融情報を提供するものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客さまご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。》